

スイッチでのDynamic Host Configuration Protocol(DHCP)の信頼できるインターフェイスの設定

目的

Dynamic Host Configuration Protocol(DHCP)スヌーピングは、誤ったDHCP応答パケットの受信を防止し、DHCPアドレスをログに記録するセキュリティメカニズムを提供します。これは、デバイス上のポートを信頼できるポートまたは信頼できないポートとして扱うことによっても行われます。

信頼できるポートとは、DHCPサーバに接続され、DHCPアドレスの割り当てを許可されているポートです。信頼できるポートで受信されたDHCPメッセージは、デバイスを通過できます。これらのポートからのパケットは自動的に転送されます。DHCPスヌーピングが有効でない場合、デフォルトではすべてのポートが信頼されます。

信頼できないポートとは、DHCPアドレスを割り当てることができないポートです。デフォルトでは、Interface Settingsページで信頼できると宣言するまで、すべてのポートは信頼できないと見なされます。

この記事では、スイッチでDHCPの信頼できるインターフェイスを設定する方法を説明します。

適用可能なデバイス

- Sx300シリーズ
- SG350X シリーズ
- Sx500 シリーズ
- SG500X

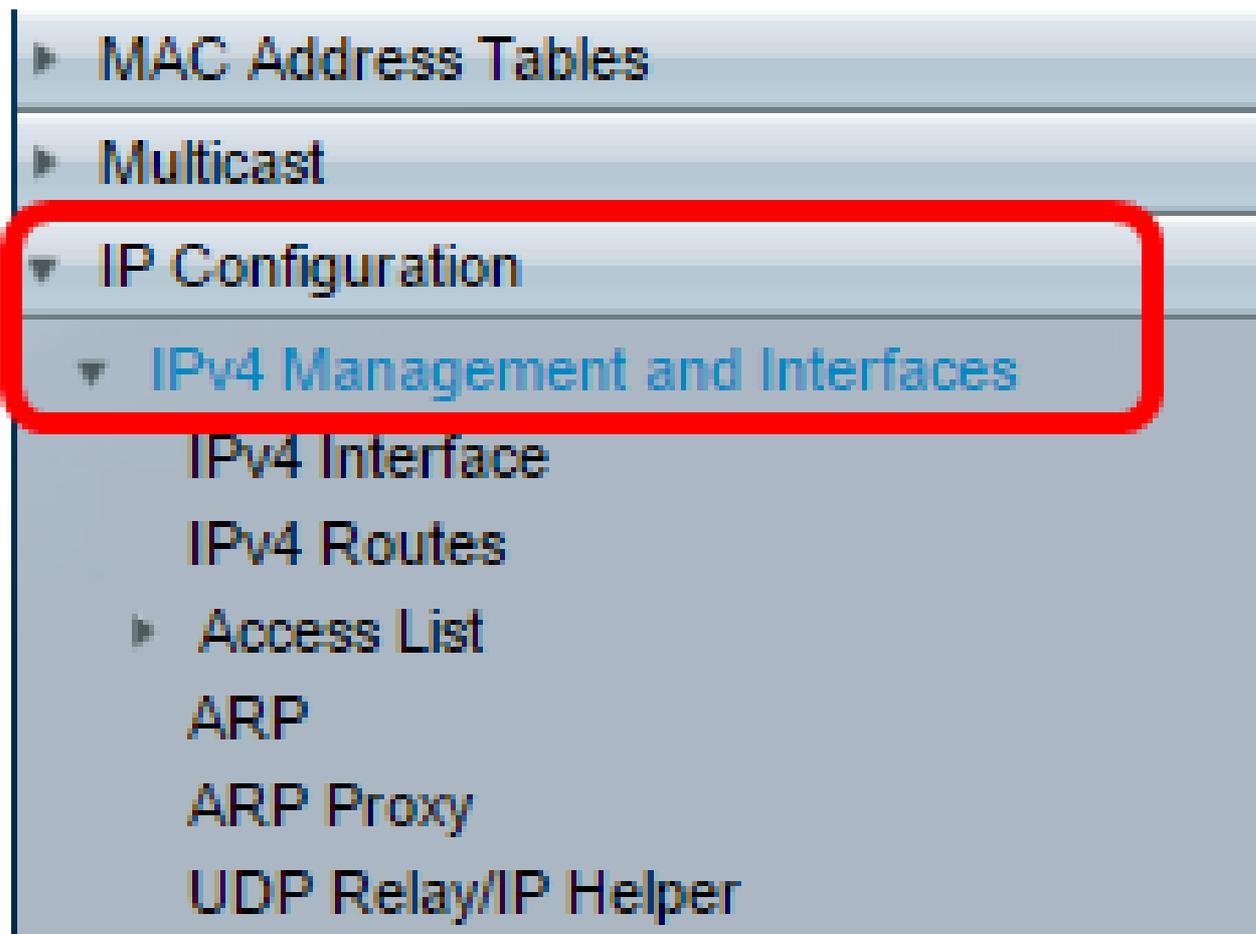
[Software Version]

- 1.4.7.06 — Sx300、Sx500、SG500X
- 2.2.8.04 — SG350X

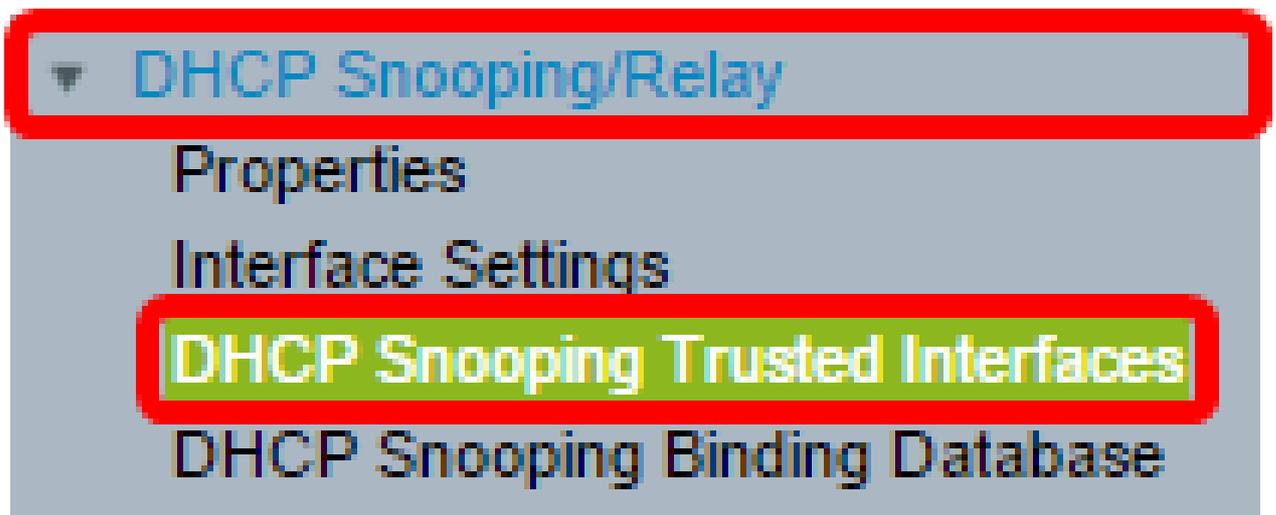
DHCP信頼インターフェイスの設定

注：スイッチのWebベースのユーティリティの外観は、デバイスのモデルによって異なる場合があります。次の画像はSG350X-48MPのものであります。

ステップ 1：スイッチのWebベースのユーティリティにアクセスし、IP Configuration > IPv4 Management and Interfacesの順に選択します。



ステップ 2：DHCP Snooping/Relay > DHCP Snooping Trusted Interfacesの順に選択します。



ステップ 3 : Trusted Interfaces Tableの下で、設定するポートまたはインターフェイスをクリックし、Editをクリックします。

<input type="radio"/>	40	GE40	No
<input checked="" type="radio"/>	41	GE41	No
<input type="radio"/>	42	GE42	No
<input type="radio"/>	43	GE43	No
<input type="radio"/>	44	GE44	No
<input type="radio"/>	45	GE45	No
<input type="radio"/>	46	GE46	No
<input type="radio"/>	47	GE47	No
<input type="radio"/>	48	GE48	No
<input type="radio"/>	49	XG1	No
<input type="radio"/>	50	XG2	No
<input type="radio"/>	51	XG3	No
<input type="radio"/>	52	XG4	No

Copy Settings... Edit...

注 : この例では、ポートGE41が選択されています。

ステップ 4 : Edit Interface Settingsウィンドウで、Interface領域で選択したポートが、前の手順で選択したポートであることを確認します。それ以外の場合は、ドロップダウン矢印をクリックして正しいポートを選択します。

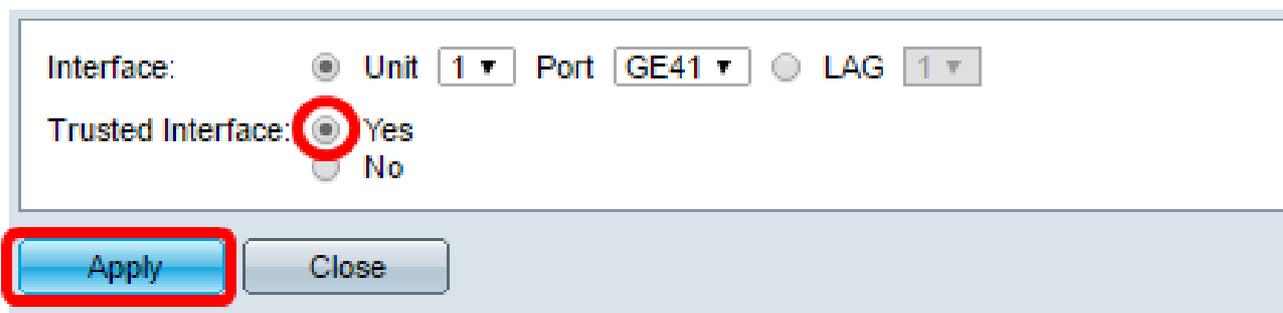


Interface: Unit 1 ▼ Port GE41 ▼ LAG 1 ▼

Trusted Interface: Yes
 No

Apply Close

ステップ 5 : Trusted Interface領域でオプションボタンをクリックして、特定のポートを信頼できるポートまたは信頼できないポートに設定し、Applyをクリックします。



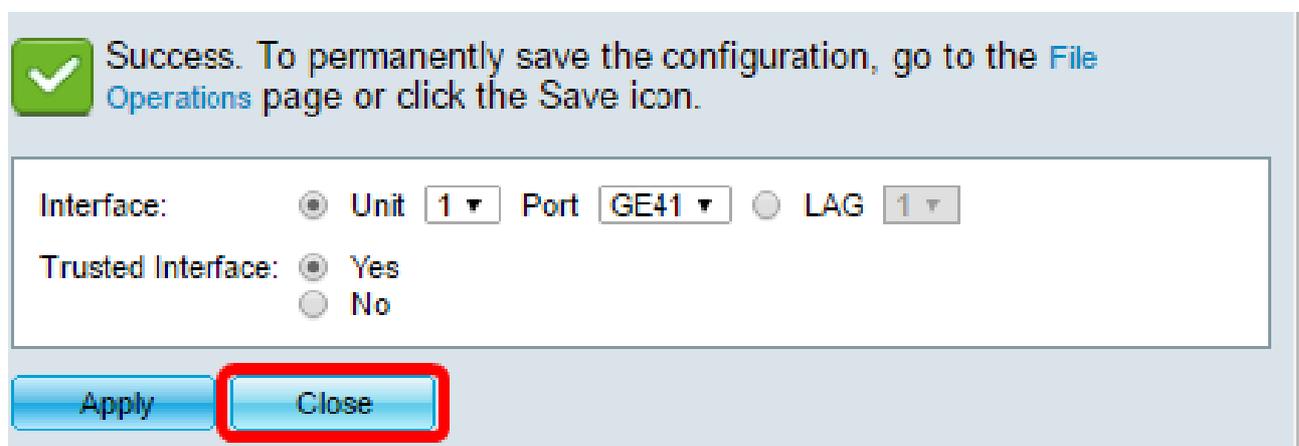
Interface: Unit 1 ▼ Port GE41 ▼ LAG 1 ▼

Trusted Interface: Yes
 No

Apply Close

注 : この例では、ポートが信頼できるポートとして設定されていることを示すYesが選択されています。

手順 6 : Successメッセージが表示されたら、Closeをクリックします。



Success. To permanently save the configuration, go to the [File Operations](#) page or click the Save icon.

Interface: Unit 1 ▼ Port GE41 ▼ LAG 1 ▼

Trusted Interface: Yes
 No

Apply Close

手順 7 : 信頼できるインターフェーステーブルで、選択したポートに新しく設定された設定

が適用されていることを確認します。

<input type="radio"/>	40	GE40	No
<input checked="" type="radio"/>	41	GE41	Yes
<input type="radio"/>	42	GE42	No
<input type="radio"/>	43	GE43	No
<input type="radio"/>	44	GE44	No
<input type="radio"/>	45	GE45	No
<input type="radio"/>	46	GE46	No
<input type="radio"/>	47	GE47	No
<input type="radio"/>	48	GE48	No
<input type="radio"/>	49	XG1	No
<input type="radio"/>	50	XG2	No
<input type="radio"/>	51	XG3	No
<input type="radio"/>	52	XG4	No

Copy Settings... Edit...

ステップ8: (オプション) 構成を永続的に保存するには、ページ上部の点滅アイコンをクリックします。



これで、スイッチの信頼できるインターフェイス設定が正常に設定されました。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。